

一般社団法人 xIPF コンソーシアム 設立趣意書

2026 年 4 月 10 日

社会や産業が直面する課題は年々複雑化・高度化しており、これらに対応するためには、データに基づいた高度な分析や予測を行う AI 技術の活用が不可欠となっています。AI を効果的に活用するためには、IoT 等により現場で生成されるリアルタイムデータに加え、企業や組織が保有するエンタープライズデータを含む、多様なデータを横断的に活用できる環境が求められています。

しかし現状では、データや計算資源は個別のシステムや組織に分断されており、分野を越えた連携や柔軟な AI 活用には限界があります。従来型の情報基盤だけでは、変化の激しい社会課題に迅速に対応することが難しくなっています。こうした課題に対応するためには、エッジからクラウドに至るまで、データ・計算資源・AI が分散配置され、相互に連携する超分散コンピューティング環境を基盤とし、AI とデータの融合を一体的に進める新たな社会基盤が不可欠です。

そこで、超分散コンピューティング環境を基盤とした AI とデータの融合による新たな価値創出と社会課題の解決を推進するため、技術開発と社会実装等を産官学が協調して推進する『一般社団法人 xIPF コンソーシアム』を設立します。本コンソーシアムは、異業種・異分野の連携を促進することで、持続可能で競争力のある次世代デジタル社会基盤の構築と新たな市場の創出を目指します。

代表発起人 越塚 登